



第8回食育活動表彰
消費・安全局長賞

教育関係者・事業者部門【教育等関係者の部】

消費・安全局長賞

埼玉県春日部市立牛島小学校

[埼玉県：活動期間5年]

次代を担う子どもたちの健やかな心と体の育成を目指し、学校を核とし
家庭と地域が連携して、食育を推進する「牛島小学校のつながる食育」

食育は生きる上での基本で、 知育・徳育・体育の基礎

「食育は生きる上での基本で、知育、徳育、体育の基礎となるものである」という理念のもと、牛島小学校は地域と連携した「つながる食育」を実践しています。児童たちの食に対する興味関心の向上や、食を通じた豊かな人間性の育成を目指し、心身の健康を支え生きる力を身に付けることができるよう支援を行っています。



プロの料理人と一緒に料理



五味五感の体験学習

「食に興味がない」「旬や地域の食材 に関心がない」等、食の課題が山積

食べ物に満ち溢れた「飽食の時代」と呼ばれる現代において、健康な体作りのための日々の食事や地域の産物、旬の食材等に関心を示さない家庭が増加しています。この課題を解決するためには、「食は命の源であると同時に、動植物の命や調理してくれる人など様々な恩恵を受けて成り立っているものである」という認識を深める必要があります。食に関する授業や稲作などの体験学習を実施し、児童自身が日々の食事に関心や感謝の気持ちを持つことができるよう努めています。



豊野中学校との連携



地域農家さんと稲作体験



わかめの体験学習

学校を核とし家庭と地域が連携して、 食育を推進

「つながる食育」の最大の特徴は、学校を核とした家庭や地域との連携にあります。核家族やひとり親家庭が増える中で、児童は家庭のみならず、地域社会全体で育てることが重要であると考えています。学校での指導をはじめとし、食の専門家や地元の生産者など各関係団体と協力しながら活動に取り組んでいます。



保育所との連携



牛島幼稚園との連携



地域の果樹園さんとの連携



食べることは生きるための基本であり、子どもの健やかな心と身体の発達に欠かせないものです。本校は、次代を担う子どもたちに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得してもらい、生涯にわたって、健全な食生活を実践することができるよう「学校・家庭・地域が三者一体」となって「牛島小学校のつながる食育」を実践しています。

埼玉県春日部市立牛島小学校
食育担当 横川 一美